

平成28年度

第2回岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 平成28年6月9日（木）午後3時～午後4時20分
- 2 場 所 岡山市役所1階 多目的ルーム
- 3 出席委員 高田委員長、小松副委員長、貝原委員、寺尾委員、土井委員、中塚委員、原田委員、松井委員、光岡委員
- 4 出席職員 小野市民協働局統括審議監
（女性が輝くまちづくり推進課）光藤課長、石原課長補佐、中田館長、高村主査、佐藤主事
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事
 - （1）岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について
 - （2）岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準について（報告）
 - （3）「第4次さんかくプラン」策定について
 - （4）その他
- 7 配布資料
 - 資料 1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票
 - 資料 2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票（第19条第3項運用基準適用）【岡山市防災会議】
 - 資料 3 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票（第19条第3項運用基準適用）【岡山市民生委員推薦会】
 - 資料 4 第4次さんかくプラン全体像・位置づけ
 - 資料 5 第3次さんかくプラン体系図
 - 資料 6 数値目標及び成果指標一覧
 - 資料 7 第3次さんかくプラン平成27年度現状値の概略
 - 資料 8 岡山市DV対策基本計画体系図
 - 資料 9 [国] 第4次男女共同参画基本計画（概要）
 - 資料 10 [県] 第4次おかやまウィズプラン
 - 資料 11 平成28年度第1回岡山市男女共同参画専門委員会要旨
- 8 会議の状況
 - 議題1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について

資料1-1「審査票【H28-3】（地方独立行政法人岡山市立総合医療センター評価委員会）」について、現委員の出産に係る休暇取得、休業期間のみ、男性医師を代役として委嘱することになったため、女性比率が4割未満になったことを担当課（医療政策推進課）より説明。

○主な意見

- ・産休が終われば復帰するのか。どれくらい産休をとるのか。
→順調にいけば10月、11月には復帰できる可能性がある。
- ・講師、助教で知識のある人がいると思うが、検討はしたか。
→それも含めて現委員（片岡医師）に相談したが他の委員とのバランスもあり難しい。
- ・年齢という点で言うと、現委員より年齢が上の方もいるので理由として成り立たない。
適切な人がいないという方がよい。今回の場合は、現委員が復帰するまでの間なので、和田医師であれば、復帰時に円滑な交代ができる。
- ・委員の資格要件というのとは何か定めがあるか。
→定めはなく、他都市の設置状況を参考に、5人の枠で、医療関係、経営、市民代表の観点で配置を考えている。医療関係は、病院経営に携わっている医師、大学関係の医師、研究全般で3人を線引きしている。
- ・後任の方が委員長になるのか。
→今回は代行なので、基本的には1年経験されている4人の中で委員長代行をお願いする。今回に限り、この期間だけ。後任の委員に委員長を頼むことは考えていない。
- ・審査基準（1）「審議会その他委員との職階・年齢」という文言は修正するのか？
→「年齢」の部分を変更して、正副委員長に見てもらい決めるのはどうか。
- ・今の話では、職階も関係ない。選定理由について本審議会委員が理解のうえ、文言としては残さないことかどうか。
→それでは、「審議会その他委員との職階・年齢の乖離が大きくなること」を削除して、再度、正副委員長に見ていただくこととしたい。

○決定事項

- ・「審査票H28-3」について、審査基準（1）を修正し、さんかく条例第19条第2項の「やむをえない事情がある」と認めたものとする。

議題2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準について

- ・資料2の1「岡山市防災会議」について事務局より説明。正副委員長に承認いただいたことを報告
- ・資料3の1「岡山市民生委員推薦会」について事務局より説明。正副委員長に承認いただいたことを報告

議題3 「第4次さんかくプラン」策定について

資料4～10について事務局より説明。岡山市議会の市民文教委員会で第4次さんかくプランについて、若者、LGBT（多様な性）、女性の貧困、外国人に対する項目を考えて欲しいという意見がでたことを補足説明。

○主な意見

- ・若者にスポットと言うのは具体的にはどのようなことか？
→そのことにも目を向けてという意味だと思う。
- ・課題としては妊孕性（妊娠しやすさ）やHPVのワクチンなどが挙げられる。子宮がんが世界的には減少しているのに日本は増加している。

- ・LGBTについて、那覇市が同姓パートナーシップ制度を導入するなど、取組みの動きが全国的に出てきている。できれば岡山市も同じぐらいのレベルで検討しなくてはいけないのではないか。
- ・検討は必要。悩んでいるという声も多い。
- ・教育委員会が中高学生等を対象にセクシュアルマイノリティの調査をしている。（岡山大学など）医療機関や支援団体等と連携し、生かしていくことが必要。
- ・リプロの問題では若年女性への支援が抜け落ちている。若年女性に対する相談体制やサポート、意識啓発が重要。地方創生のヒントは若年女性だと思う。
- ・全体を見ても社会福祉の視点が入っていない。生活困窮者への対応など。
- ・待機児童は抜本的改革が必要。今年、800人近い待機児童がいることが明らかになった。今までの調べ方は？
 - 厚生労働省の指標があり、それにあてはめると0になる。最近岡山市では再度調査をした。岡山市は市域が広いので、車で30分ぐらいの中心部から外れた地域に入園可能な園がある場合等、入園しようと思えばできる状態なので、待機児童はいないという考え。市長がそれは現実とかけ離れているということで見直し、待機児童が増えて話題になった。
- ・65歳、70歳まで働くという動きがあるが、そうすると、孫の面倒を見ることができず、（祖父母か母親か）どちらかが辞めないといけなくなり、結局若い人が辞めることになる。預かってくれるところがないから、仕事を辞めざるを得ない。働き続けたいという女性が多いが、（待機児童などの問題で）それができない状況になっている。
- ・保育園は5時頃には迎えが必要などところもあるが、まだ勤務中の人も多いので、その対応はどうするのか。
 - 所管の局（岡山っ子育成局）で対応に努めていると思う。

議題4 その他

○主な意見

- ・男女共同参画社会は人権尊重が重要で、人権を根本に考えた取組みが必要。
- ・「外国人」について、結婚して定住している人、留学生、就労している人など幅が広く、立場によって悩みも違うので、どう対処するか。「外国人」という言葉の定義も整理し、「異文化」など表現も工夫してはどうか。人権の視点で様々な人が生きやすい社会を考えると、「外の国の人」ではないと考えていけない。
- ・同和問題は、法律が終わって一般施策になっているが、今でも結婚差別や進学等いろいろな問題がある。同和問題は依然として残っている。
- ・同和対策、外国人はまた別に市の計画があるので、そちらとも整合性をとりながら、男女の性別に関わることを「さんかくプラン」で対象とすべきだと思う。
- ・学生の貧困も問題の一つ。朝から夜までアルバイトで働いて生活費を稼ぎ、学生の1割が送りゼロで自活している。そのような学生がここ10年ぐらいで増えている。若年層の生活困難について踏み込んだらいいと思う。
- ・虐待の現状はどうか。相談件数は全国的には伸びているが、岡山県は横ばいに落ち着いてきている。未婚の女性や10代の女性がハイリスクなので、女性への支援が必要。
- ・相談件数が増えているのはマイナスイメージだが、増えているということは口に出せる人が増えたと思う。ただ、相談窓口が集まる勉強会で話がでたのは、相談件数が減っているということは、相談できる場所がない、相談員と相談したい人が接点をどのように持てばいいか悩んでいるからだということ。LGBTと同じように、自分だけが悩んでいるのではないことを細かに発信していかないと次に繋がらない。

- ・相談に行って駄目だと思ったらそこで逃げてしまい、友達同士で悩みを解消し、間違った判断になってしまう。大人の視点や社会性を持った人の視点が必要。
- ・若年層の女性は相談に行かないので、居場所づくりが必要だと思う。若年層を対象にした居場所づくりという視点でさんかく岡山を活用できないか。
- ・基本計画には男性相談があるが、センターでは男性からの相談は受けているか。
→受けている。男性の相談員は配置していない。
- ・男性は誰にも言えない傾向があり、直結ではないけれど、暴力の問題になったりする。男性も弱くていい、相談してもいいという社会になればよい。
- ・若い人はネット検索をするが、相談の窓口が分かっていると面倒になり、どこに相談したらいいか悩む。総合的な相談窓口が広く受け付けて、とりあえず話を聞いて、適切なところに繋げるとよい。
- ・高齢者などは、包括支援センター等があるが、若者にはない。
- ・若い人のほうが精神的に追い込まれている。
- ・具体的施策の更なる具体的なものがさんかくプランの中にあると理解してよいか。
→具体的な施策はプランの中に記載しており、市役所の各課の事業として取り組んでいる。
- ・具体的施策がどの課の事業に繋がるのかわかりにくい。28年度は、具体的施策がどの課の事業に繋がるのかわかるようにすれば、より明確な目標ができるのではないか。
- ・今日も意見がでたが、次回の委員会はどうなるのか。
→今日頂いた意見を参考にしながら素案を作成していく。
- ・さんかくプランは同和問題や学生の貧困化を含め全てにかなり影響力を持つのか、それとも一つの専門行事をやるだけなのか、様々な行政と市のプランの中の位置づけを確認したい。整合性がないとおかしい。
→岡山市都市ビジョンがあるので、それと整合性を取っていかないといけない。その中で、男女共同参画にスポットを当ててプランを作ることが大事なところなので、そういった視点で意見をいただけたらありがたい。
- ・人権擁護の中に男女共同参画、結婚差別等が入るのか、位置づけがわからない。
- ・意見を市がどのように議論しているのか、分からないまま進むのか。
→たたき台を市で用意しないと皆様からご意見はいただけないと思っている。
今日はその前段階で皆様に広い意見を頂き、次にある程度のものお示しし、実際に具体的な意見をいただけたらと思っている。
- ・当事者や市民から意見を聞く機会はあるのか。
→秋頃に、ワークショップという形で考えている。若い世代、子育て中の女性等幅広い方から意見をいただく予定にしている。
- ・庁内に男女共同参画推進体制はあるのか。
→全庁的な推進会議があり、その中で協議・情報共有する。
- ・プランに関することで進捗状況、最後がいつで、今回は何をやるのかをA4の紙1枚で毎回あるとよいのでは。
→今日の時点で何を決定するのか、あと何回あるのかといったスケジュールを用意する。
- ・工程の中で、推進会議等のいろいろな意見が見えれば、どのように決まっていかがわかる。

9 次回開催

次回は8月3日15時30分から開催